

はしがき

この消防年報は、見附市の令和4年4月1日の現勢と令和3年及び令和3年度中における、消防業務全般に関する事項について集録し、見附市の消防現況を紹介するために編集しました。

この年度中の各統計表については原則として令和4年3月末としていますが、「令和3年」とあるのは暦年（1月から12月）、「令和3年度」とあるのは会計年度（4月から翌年3月）、「令和4年4月1日」とあるのは令和4年4月1日現在を表しています。また、消防現況の逐年傾向を把握するため、主要な統計表は過去に遡り比較表としてあります。

令和4年10月

見附市消防本部

目次

概要

I 消防現況

- 1 見附市の概況
- 2 消防本部を起点とした距離
- 3 消防現勢分布図
- 4 見附市消防の沿革
- 5 見附市の過去の大火
- 6 見附市の主な災害
- 7 見附市消防組織図
- 8 歴代消防長・署長・団長
- 9 消防力の整備指針に基づく現有消防力
- 10 消防庁舎現況
- 11 消防予算執行状況
- 12 市民一人当たり、一世帯当たりの消防費
- 13 消防職員数及び職員配置表
- 14 消防職員勤続年数調
- 15 消防職員年齢別調
- 16 消防職員の年齢・勤続年数別構成表
- 17 消防職員教養・研修受講状況
- 18 消防職員特殊技能資格等取得状況
- 19 消防応援協定

II 消防団

- 1 消防団員階級別定員と実員
- 2 消防団員階級別年齢調
- 3 消防団員勤続年数調
- 4 退職消防団員勤続年数調
- 5 消防団員勤務先業態調
- 6 消防団員教養・研修受講状況
- 7 消防団関係表彰状況
- 8 消防団員出動種目別回数及び人員
- 9 消防団員不在者状況調

III 気象観測

- 1 月別気象状況
- 2 気温・湿度
- 3 天候日数・降水量
- 4 風向・風速
- 5 積雪・降雪

IV 予防行政

(火災)

- 1 火災発生状況分布図
- 2 火災発生状況
- 3 過去5年間の火災の比較
- 4 過去5年間の出火原因
- 5 月別火災出動ポンプ台数及び出動人員

(危険物)

- 6 危険物施設の許可区分別構成
- 7 危険物施設の取扱貯蔵規模別構成
- 8 数量別危険物製造所等調
- 9 危険物製造所等の事務処理状況

(予防・広報)

- 10 予防広報活動実施状況
- 11 火災予防条例に基づく届出状況

- 12 立入検査実施状況
- 13 消防用設備等点検結果報告状況
- 14 防火管理者選任状況
- 15 中高層建築物状況
- 16 防火管理者資格付与講習実施状況
(建築同意)
- 17 建築確認申請処理状況
- 18 建築同意工事別件数
- 19 建築同意用途地域別件数
- 20 建築同意事務処理状況

V 警防行政

(救急業務)

- 1 過去10年間救急出場件数比較表
- 2 月別救急出場状況
- 3 本署及び出張所における出場状況
- 4 覚知別救急出場状況
- 5 発生場所別搬送人員状況
- 6 覚知から現場到着所要時間
- 7 収容所要時間別搬送人員
- 8 傷病程度別搬送人員状況
- 9 事故種別・年齢・性別搬送状況
- 10 居住別搬送人員
- 11 理由別転送件数
- 12 事故種別応急処置実施状況
- 13 曜日別救急出場状況
- 14 時間別救急出場状況
- 15 医療機関別搬送人員状況
- 16 区域別医療機関搬送人員状況
- 17 急病搬送人員の病類別内訳
- 18 住宅内の高齢者事故の特徴
- 19 バイスタンダーの応急手当実施状況
- 20 特殊救急調
- 21 応急手当の普及状況
- 22 応急手当指導員・応急手当普及員養成状況
- 23 消防団員応急手当指導員分団別調
- 24 消防団員応急手当指導員階級別調
- 25 消防団員応急手当指導員派遣人員状況

(消防水利)

- 26 水利基準数
- 27 公設防火水槽の状況
- 28 公設消火栓管径別の状況

(警防業務)

- 29 救助・警戒・訓練等出動状況

VI 装備

- 1 現有消防装備及び施設
- 2 消防通信施設
- 3 消防車両及びポンプ種別
- 4 救急・救助資機材

概 要

1 火災の実態

(1) 出火件数及び損害見積額等

出火件数	9件	(前年比同)
損害額	20,709千円	(前年比9,336千円減)
出火率	2.26	(前年比0.01増) (出火率=火災件数÷人口×10,000人)

(2) 出火原因

たばこ・マッチ等	4件	工業用機器類	2件	火気使用器具等	1件
電気機器及び配線	1件	その他	1件		

(3) 死傷者

死者	0人	(前年比同)
負傷者	2人	(前年比3人減)

2 救急の実態

(1) 救急出場件数 1,746件 (前年比217件増)

(2) 事故種別出場件数

急病	1,116件	63.9%
交通事故	76件	4.4%
一般負傷	260件	14.9%
転院搬送	215件	12.3%
上記以外	79件	4.5%

(3) 搬送人員 1,656人 (前年比217人増)

3 消防業務重点事項

(1) 複雑多様化する災害に迅速かつ的確に対応するため、消防車両等の整備及び装備の高度化・安全化を推進するとともに消防職団員の資質の向上を図る。

(2) 消防団の活性化を図る。

(3) 住宅火災を予防するため、関係機関や地域と連携して住宅用火災警報器の普及及び防火対策を推進する。

(4) 消防用設備等の適正管理や法令違反の早期改善指導及び災害の未然防止を図る。

(5) 救急救命士の養成や高度救急資器材の整備。複雑多様化している救助事象に対応できる救助隊員の育成強化を図る。

(6) 応急手当の知識や技術の普及を推進し、市民・救急隊・医療機関の連携体制を確立させ救命率を向上させる。

(7) 学校・消防団・自主防災組織等と連携し、防火・防災意識の高揚を図る。